

経営比較分析表（令和3年度決算）

北海道 月形町

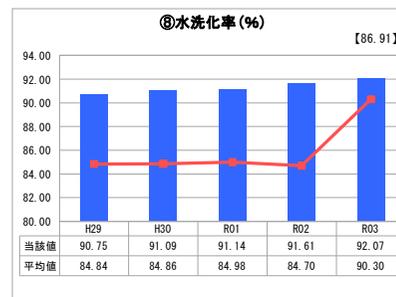
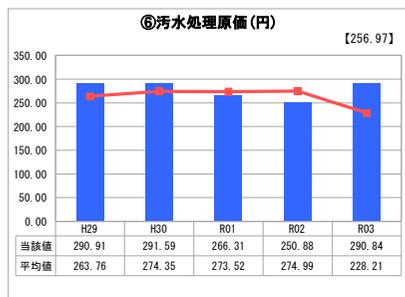
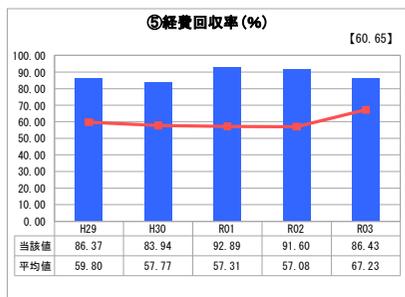
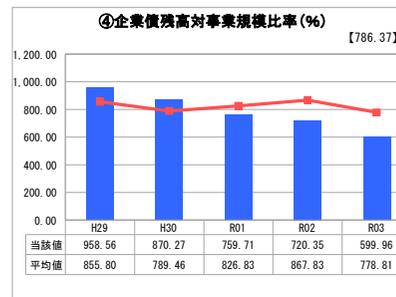
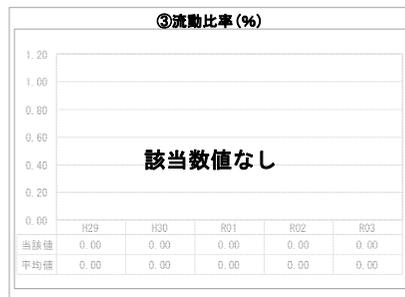
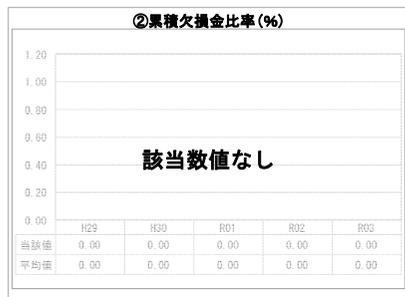
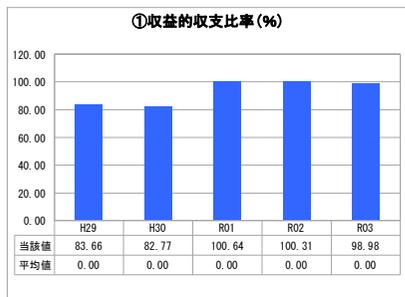
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	53.66	86.81	4,664

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,955	150.40	19.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,563	1.57	995.54

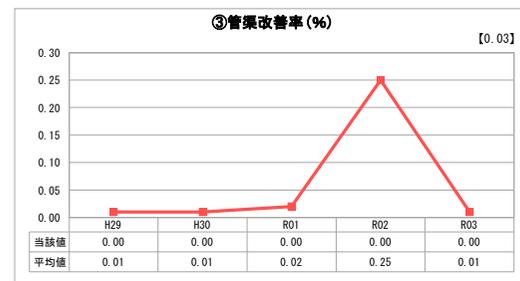
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①平成30年度以降は、地方債償還金の減少により、100%に近い数値となっている。今後も経営改善に向けた努力を続けていく必要がある。
 ②地方債償還金の減少により、減少傾向にある。
 ③類似団体平均を大きく上回っているが、今後も汚水処理費の削減、適正な使用料収入の確保が必要である。
 ④例年類似団体の平均に近い数値を推移していたが、有収水量の減少等により、今年度は上回る値となった。経費削減を進めると共に、接続率の向上により有収水量を増加させるなどの努力を継続する。
 ⑤類似団体の平均と比べて低い数値となっているが、人口減少等を原因として、処理水量が減少しており、経営努力等による改善は難しい。今後は施設の規模縮小や統廃合を検討する必要がある。
 ⑥類似団体平均値を上回っている。接続率は向上しているが単身世帯が多く、有収水量の増加には繋がっていない。

2. 老朽化の状況について

③管渠について、耐用年数が経過するまで期間があるものの、劣化状況の把握を進め、計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

全体的に類似団体の経営に近い状況である。水洗化率は類似団体と比較して高い数値となっているものの、人口減や新型コロナウイルス感染症の影響により有収水量の減少が続いており、汚水処理原価が増加する結果となった。また、施設利用率が減少を続けていることから、処理能力・施設規模の縮減について検討する必要がある。
 今後は施設の機能強化事業を予定しており、経費や地方債償還金の増加が見込まれることから、公営企業法の適用事務を進め、適切に経営分析していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。